

第6回 甲府市上下水道事業推進会議 会議録

- 会議の名称：第6回 甲府市上下水道事業推進会議
- 開催日時：令和5年2月15日（水）午後3時00～午後4時05分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：風間ふたば委員、落合圭子委員、中澤謙一郎委員、石平博委員
野村千佳子委員、大久保一雄委員、小沢忠雄委員
- 欠席委員：なし

■ 次第

- 1 開 会
- 2 報告事項
- 3 議 事
 - (1) 第6次戦略推進計画（案）について
 - (2) 提言（案）について
 - (3) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉 会

■ 議事

- (1) 第6次戦略推進計画（案）について

【会 長】

第6次戦略推進計画（案）について、事務局より説明をお願いします。説明の後、委員の皆さまのご意見やご質問等をお伺いしたいと思います。それでは、事務局から説明をお願いします。

（事務局より説明）

【会 長】

ただいま説明をいただいた内容につきましては、計画の抜粋であり別冊資料にすべての事業が掲載されております。説明いただいた事業は、第6次計画の特徴的な事業であり、その他の事業につきましては、第5次計画から大きな変更の無い事業ということになります。これまでの会議におきましても、第2回会議において第4次計画の中間評価を、第3回会議において第5次計画案、第4回会議において第4次計画の最終評価について、そして、前回の第5回会

議において第5次計画の中間評価について委員の皆さまからご意見等をいただけてきました。そして、今回の会議におきましては、第6次計画案というように、毎年度作成する計画について、中間と最終評価における本会議からの意見等を反映していくかたちとなっております。

それでは、委員の皆さまからご意見等をお伺いしたいと思います。

【委員】

配水施設等更新事業について、中区配水池更新工事は、1号配水池単独で運用を行いながら2号配水池を解体し、新しい配水池を建設するとのこと。2号配水池は新しくなりますが、1号配水池は解体して終了という理解でよろしいでしょうか。その場合、容量が大きく減少となりますが、もしくは、1号配水池の更新予定などがあるのでしょうか。

【事務局】

2号配水池の解体後に新配水池を建設いたします。1号配水池は新2号配水池の完成後は休止状態となります。今回の更新で施設の配水機能が敷地の東側に集約されることとなります。中区配水池は甲府の上水道の象徴的な施設でもあることから、1号配水池の取り扱いを含む敷地西側の利活用について、工事を進めながら検討していきます。

施設容量につきましては、これまで配水エリアを縮小してきた経過があり、現在の配水エリアの供給量を確保できる計画容量（3,000m³）を設定しております。

【会長】

1号配水池につきましては、歴史的な建造物であるため、今後、残していくかどうか検討していくということで良いですか。

【事務局】

そのとおりです。

【委員】

水道事業の水道管路耐震化事業において、第5次計画と同様に年間17,000mの整備目標となっておりますが、実績をお聞きしたいと思います。また、令和9年度までに耐震管率の24.5%を目指すとありますが、全国の耐震管率をみると38%となっており、大幅に少ないように感じます。地震がいつ起きてもおかしくない状況でもあることから、更新率を上げていくことはできないのでしょうか。

【事務局】

年間の更新延長は、目標の17,000mに対しまして、実績は13,000～14,000mであり、上下水道局の事業としては目標に達していない状況であります。上下水道局の事業とは別に、民間の開発等により新しく布設さ

れる管が3,000mほどあります。また、管路の更新率につきましては、全国平均値0.6～0.7%に対しまして、本局の令和3年度実績は0.83%であり、全国平均は上回っているものの1%の目標には届いておりません。耐震化の推進は必須であることから、今後におきましても工夫を重ねながら、減少傾向に陥らないように努めていきたいと考えております。

【委員】

戦略的PR活動の展開について、第6次計画から展開していく給水スポット事業は、本会議からの意見を反映させたものでしょうか。また、給水スポットの設置数はどの程度を予定し、どのような効果を期待しているのでしょうか。

【事務局】

給水スポット事業は、会議から意見をいただいたものではなく、新しいPRの方法として検討したものであります。また、設置数につきましては、来年度1箇所設置し、それ以降は、市内の公園や観光施設などの各施設への設置を検討してまいります。おいしい水道水のPRに併せて、ペットボトルでなくリユースできるボトル使っていただくことで環境問題への対応、また、観光や教育に資するといった相乗効果が見込めるような施設への設置を検討してまいります。

【委員】

先日、支払情報の更新手続きのお願いをしたのですが、迅速な対応をしていただきありがとうございました。

まず、大寒波到来の注意喚起について、防災無線による周知や、テレビなどメディアにおける情報発信などがありました。これらの情報発信は、広報活動の一環として行っているのか気になりました。また、水道管の凍結等につきまして、どのくらいの被害があったのか、そして、上下水道局の施設は、どのような影響を受けたのか教えてください。

また、配水施設等更新事業における更新は、想定していた更新でしょうか。災害に対して、どの程度想定して更新計画を練っているのか教えてください。

【事務局】

寒波の被害状況ですが、10年に1度の大寒波ということで、非常に大きな被害が出ております。12月20日から2月1日までの間に、凍結相談が475件、破裂相談が424件、合計で899件の被害状況でありました。寒波の対策などにつきまして報道機関にお願いする中で周知を行ってまいりましたが、被害状況の発信につきましては、主に新聞報道で行ったところであります。

【事務局】

寒波による破裂等により配水量が増加することになります。北陸地方等に

おきましては、施設が影響を受け、広域にわたり断水という状況がありました
が、本局の施設におきまして、影響はありませんでした。また、耐震化に関
する被害想定ですが、現在の耐震化の計画におきまして、直下型の地震（マグ
ニチュード7）の発生時に管路の被害として数千件を超える被害が発生すると
予測しております。応急復旧の目標を4週間と掲げており、耐震化率が概ね4
0%に達すれば4週間での復旧が可能であると想定しているため、それに向
けて耐震化事業を進めております。

【会 長】

今回の寒波は非常に相談も多く、上下水道局の対応も大変であったと思わ
れますが、施設においては問題なかったということで安心しました。

【委 員】

災害に関しまして、液状化という問題はないでしょうか。

【事務局】

盆地において液状化は想定されます。液状化を含めて耐震化という考え方
になります。過去には、市の南部において、堤防が壊れ水害が発生した例もあ
ったことから想定は必要と考えています。

【委 員】

千葉県などでは、下水道管の被害が多かったと聞いていますが。

【事務局】

液状化による下水道の被害として、マンホールの浮上が起きることがありま
す。そのため、マンホールの浮上防止対策など耐震化を進めております。

【委 員】

ボトルドウォーター甲府の水について、アルミ缶に変更するとのことですが、
飲んだ時の口当たりが気になりました。また、県外の方をもてなす場合など、
甲府の水を使った水割り、可能であれば炭酸水があれば、甲府の炭酸水を使
ったハイボールといったように、活性化に繋がると思いました。

【事務局】

今回アルミ缶に変更する主な理由は、リサイクル率やマイクロプラスチックと
いった環境面へ配慮したものであります。炭酸水につきましては、今後の
展開において参考とさせていただきます。

【会 長】

水道事業、下水道事業ともに広域連携の推進につきましては、山梨県が作成
する広域化計画に関連して本局の計画にも入ってきたという認識でよろしい
でしょうか。

【事務局】

これまでも、山梨県が作成する広域化計画の策定について協議しておりま

したが、今年度末の策定をもって来年度から、より具体的な協議に入っていくため事業出ししております。

【会 長】

今後は、県の計画に基づく広域化に関連した項目も入ってくるという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

来年度以降、県内の他事業体との協議しながら、本局にとって効果のある項目があれば入ってくると思われまます。短期間で協議できる事業ではないため、人口減少など大きな課題を克服するひとつの手段として考えております。

【会 長】

それでは、他に意見はないようですので、第6次戦略推進計画（案）については、承認としたいと思えます。

(2) 提言（案）について

【会 長】

それでは、次に、「提言（案）について」になります。この提言（案）につきましては、前回の会議で委員の皆さんのご承認をいただき、私と事務局でたたき台として作成いたしました。委員の皆さんには、事前に送付させていただいておりますが、構成や内容について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

【会 長】

ただいま説明をいただいた内容につきまして、委員の皆さまからご意見等をお伺いしたいと思います。

【委 員】

提言内容につきましては、意義はございません。6回にわたる会議における意見等をくみ取っていただいた内容であると思えます。

【委 員】

提言内容につきまして、意見等はありません。会議全体をとおして、勉強させていただいたという感想です。特に、下水道事業について、下水道管は普段、目に見えないものであるため、下水道に流してはいけないものなど、一般市民が意識をもって下水道を大事にしていけるようなPRが必要だと思えました。特設サイトは、良くできていると思えますが、実際に何を流すと下水道管の中がこういった状態になるといった、わかりやすい動画をあげてもらおうと、一般の市民も大事にしようという意識を持ってもらえるのではと思えました。

【委員】

提言内容につきましては、良くまとまっていると感じました。PR活動について、今後も色々な活動を行っていくとのことですが、市民の認知度が低いところをどのように改善していくかが問題だと思っています。それに関連して、今後、水道料金等も値上げになると感じています。その時に料金等を支払う市民への丁寧な説明が必要だと思っています。市民の理解を得ることが最も大事であるため、ホームページや水道だより等における丁寧な説明が必要であると思っています。

【委員】

提言内容につきまして意義はございません。水道事業、下水道事業ともに提言内容にあります、特に強化を期待する事業の積極的な推進をお願いします。

【委員】

提言の構成につきまして、1の水道事業から4の広報活動についてまで、各項目の整理の仕方について、考え方を教えてください。

【事務局】

構成につきましては、1の水道事業、2の下水道事業ごとの整理がわかりやすいという考え方になります。3の進捗管理につきましては、全体についての今後の進め方を整理し、4の広報活動につきましては、新しく始めた事業について具体的にご意見いただく内容に整理しました。

【委員】

考え方がよくわかりました。事業別の方がわかりやすいと思いますし、広報活動については、より具体的な内容であるため、このような構成が良いと思います。

【会長】

それでは、提言内容は承認をいただいたということで、今後は、提言書の提出につきまして、3月14日を予定していますが、私と落合副会長にお任せいただくということでよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【会長】

他に意見はないようですので、これで、次第の3「議事」を閉じさせていただきます。

以上